

ブラックデラックスの愚痴りごと

山口直美

俺たちはハシブトガラス。親から貰った名はあるが、今は仲間から、ブラックデラックスと呼ばれてる。熟年世代となり、体がデカくなってきた上、毒舌が過ぎることから、付いたあだ名だ。

良く知らないが国内では、やはりデカくて、女のフリをした男のニオイのする人間が、毒を吐いて人気を集めてるとかあ？　それが、あだ名の所以だ。でも言っとくけど、俺たちは、れっきとしたオスだぜ。

ところで時間があれば、ちよつくら付き合ってくれよ。俺ちつて、そんなに毒舌が過ぎるかあ、聞いて欲しいんだ。話したいことも、山ほどあるし……。

俺たちが若い頃だけど、縄張りにな、グランド周りの一部に、ポプラの大木が何本かある、中学校があったんだ。どの木も、ポプラの香りがする葉が豊かに繁って、巣をかけるのにサイコーだったし、太い幹には毎年、蟬が沢山いて食料に助かった。なのに落ち葉が迷惑って理由で、ある日、全部バツサリいっちまった。

それだけじゃない。その隣の、とある官舎の広場ぐるりには、かなり育ったヒマラヤスギがあったんだ。針のような小葉まみれの小枝が、たわわに垂れた奥の枝には、キジバトがよく巣をかけて、俺たちはたまに、卵を失敬してたけどな。それらの木も、広場を駐車場にするからって、全て伐ったんだぞ。

ヒマラヤスギなんか、広場の隅にあったんだ。駐車場にした所で、何の邪魔になるのか、俺たちには、さっぱり分からん。ポプラだって、落ち葉が迷惑だと？　人間にも、抜け毛くらいあるうになあ。木のお陰で、自分たちが呼吸できると分かっているだろうに、それでも共存に努めようとは思わないのかあ？

いや、それ以前に、動かない木にも命があるってことを、この国の人間は、忘れきつてるように見えるぞ。だって、目の前で動く動物にすら、自分達の都合ばかりの、聞くに堪えない話ばかり流れてくるんだから。

野菜や魚など、人間の育てるものへ口をつければ、此処らでも俺ちら鳥と獣は、たちまち追い立てられちまう。だが、所によっては、それで命まで奪われてしまうんだと。

そんな時、決まって、人が作ったものに口をつけて、と罵られるんだが……、ちよつと

待て。そこには俺っちらや獣も、元々住んでたんだ。それを押し退けて、人間が住み着いた場所すらある。なのに、追い立てて申し訳ないって気にするどころか、邪魔だ迷惑だと殺して終わってるよな。

一昔前の人間は、種は三粒撒けと言っていたと、老鳥たちが話してた。空を飛ぶものとの地を這うもの、そして人間の分の、三粒だ。実際にその通りにしろってんじやなく、そんな風に、同じ時空を生きる他の生きものへの配慮も忘れず、作物を育てろって事だろ。

俺っちらだって、生きなきゃならん。子育てもする。自然界の糧が減ってる今、俺っちらはどう食いつなげばいい？ 第一、自然界の糧が減ったのは誰のせいだ？ 俺っちら鳥や獣との付き合い方を、それと何より、俺っちらにも一つしかない命があるって事を、今一度、人間は思い出して欲しいもんだ。

クマなんか、もっと苛酷だそうだな。ちょっと人前へ現れただけで、追いかけて回されて殺されがちだとか。それを何とか救おうと、クマが空腹で人里へ出ないように、一部の人間が伝手を駆使して、各地からドングリを何十キロと集め、汗だくになって山へ運んでいたんだと。すると専門家とやらが、ドングリの遺伝子が交雑し、植生が乱れるとか言って、それに反対したらしい。

専門家って頭いいと聞いてたけど、これには俺っちら笑っちゃったよ。だったら何故、自然修復として国中で推奨されてる、雑木の植林には何も言わないんだ。植える木は、遺伝子まで考えて選ばれてると？ 運んだドングリは食べられちゃうが、植林はしっかり根付くのに、こっちは問題ないのかあ？

で、そんな反対をしておいて専門家は、追われるクマの為に何をした。クマと共存する地域が国内外にあると、俺っちらでも渡り鳥から聞いているのに、代わりに、そういう事例の紹介や導入でもしてくれただろ？ ドングリもクマも俺っちらからすれば、生きている同じ命なのに、専門家は、どういう基準で分けるんだ。

他にもあるぞ。近頃、あちこちの仲間から、見慣れない獣の情報をよく耳にする。どれも、本人か親が人間に捕まり、故郷から連れ去られたとか。仕方なく、この国で生きていくだけなのに、人間の庇護を失った奴らは、外来生物と呼ばれて、見つかり次第、殺されてしまってるらしい。

身内の為した業の結果なんだから、責任取って、奴らを故郷へ送ってやればいいのに、やはり、遺伝子が交雑するのでむやみに返せないからって、奴らの命と引き換えに、人間は事を収めている。これも専門家の口添えらしいが、俺っちらには、ただ、手間をかけずに

問題解決する手段としか、見えないな。

だって、この所業の理由を人間は、在来種の保全と銘打ってるくせに、奴らの入国を未だに許し続けている。ホントに生態系を保護するつもりなら、入国自体を禁止とすべきだろ。その方が、奴らの故郷の保全にもなるってのに。この対処にも、犠牲者を減らそうという気持ちだが、全く見受けられてない。

近年、ペット店やコーナーを覗けば、獣、鳥、魚だけでなく蛇とか虫まで、陳列されるようになってしまった。売買される以上、生きているのに商品だからな。商品価値の無い命の行く末を、知ってるかあ？ 主人の責任放棄も含めて、犬猫だけでも年に三十万匹余を、この国では死に追いやってると聞いてるぞ。

対して、こんな犠牲も、命を商品にする店も、存在しない国だってあるそうだ。が、それを真似る様子もないこの国は、命の重みを見失いがちになってるよな。いやそれとも、重みを忘れてしまってるから、真似ようとしなのかも知れん。

この件からも、それは思うぞ。此処から幾つも山を越えた、場所での話だ。……え？ 色々、良く知ってるって？ カラスの情報網は、人間に引けを取らないからな。とある市営公園の湖にな、人気者だった白鳥類が四百羽ほど、長年、住んでたらしい。ところが、その中の数羽が鳥インフルエンザで死んだからって、元氣な奴らまで、一日のうちに皆殺しにされちゃった。

人間相手でも、そんな事するか？ 発病した者と同じ学校や職場にいた、というだけで、発病もしてないのに感染を疑われて、命まで奪われる？ 動物園もある公園で、餌付けされてたんだ。予防接種しとくとか、助ける方法を考えておかなかったのは、どうしてだ。

養鶏業だって、そうだ。毎年、鳥インフルエンザに脅えるのなら、予防接種くらい、すればいいんだ。人間の糧でしかない家畜かも知れないが、奴らにも全うすべき命はある。集団の中の何羽かが発病したからと、失敗食品のように一斉に潰され、捨てられてしまうのは、話を聞く度に堪えられん。

人間の身を守る為とはいえ、これは余りにも俺っちらの命を軽んじた、安易でヒステリックな対処じゃないかあ？ もっと賢明な打っ手はあると、俺っちでも渡り鳥から聞くのに、この国はまるで、たかが鳥には経費も労力もかけたくないとでも、言いた気だな。

最近、北の方で大地震があつて、一部の人間が管理出来るとうそぶいてた施設が、手に負えなくなったらしいな。その時、人間だけ避難して、家畜は勿論、ペット動物まで置き去りにしたとかあ？ せっかく地震を逃れたのに、それで沢山、死んだ奴がいたって話だ。

人間の気持ちの、さじ加減ひとつだったのに、これは天災じゃなくて、完全に人災だろ。

以前、北方の外国であった同じような施設事故では、ペット動物のみならず家畜まで、人間と共に避難したと、渡り鳥から知らされた。その国より俺たちの国のが、その施設の技術レベルは高いと、世界的に評価されてるようだが、この点のレベルは、そうでもないんだな。

動物の扱いで、国の偉大さと道徳的発達が測れると、非暴力で革命を成し遂げた、外国の偉人も言ったそうさ。そういやこの国では、渡り鳥から聞いた動物福祉って言葉を、まじ聞かない。その概念自体、まだ無さそうだな。

……なあ、こんな事が、この国には多過ぎないかあ？ 俺たちら、これからも生きて行ける？ 日頃は、生きものや草木に優しく、命や緑を大切に教えていても、いざ何かあって、人間に関わることと天秤にかけた時、実際が一樣にこんな有様じゃ、その命の重さを真に感ずる機会は、子供にも持てないだろうよ。

動植物を問わず、命を人間が生きる為に頂くことと、尤もな理由を付けて見捨てること……。命を奪う行為は同じでも、その罪には天地の差があるんだ。見限られそうな命には、思いをちよつと向けて、対処の手間を惜しまない。それだけで、犠牲を減らす策は見つかるってのにな。

ついでに言えば、見捨て癖の付いた思考回路は野放しにすると、いずれ人間自身へ向って行くぞ。いや、もう向かってないかあ？ 子供同士や大人間、家族や社会で、同じ様な尤もらしい理由による、命の重みを忘れたような出来事を、よく聞く気がするがな。

はあ、話したら、少しは気が晴れた。ありがとな。……え？ これじゃ、毒舌じゃなくて愚痴だつて？ そうだな……。何かいい話があれば、教えてくれよ。俺たちだつて、将来に希望を持ちたいし、人間を嫌いにもなりたくない。俺たちは、そこらの木、電線、屋根、何処へでも居るからさ、いつでも声かけてくれよ。じゃ、頼んだよ！